



8月9日、猛暑の中、今年も大きなトラックでライオンズクラブの皆さんが届けてくださいました

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区
子ども笑顔応援プロジェクト

**石狩・空知地区母子会員に
60箱の【宝箱】をいただきました!**

昨年に引き続き今年度も、8月9日と12月6日の2度に亘り各60箱の食糧支援をいただきました。長引いたコロナは5類に移行しましたが、終わりの見えない物価高騰は母子家庭の生活を直撃しています。猛暑が続いた夏にいただいたカップラーメンやレトルト食品にお母さんは、「助かります…」と感謝し、子ども達はジュースやお菓子里に歓声を上げていました。



盛りだくさんのプレゼントに大喜び、子ども達にはチューパッピーが人気です!



江別市母子会小高久子会長から感謝状贈呈
他の単位会からもお贈りしました



60箱の贈呈式
設楽幸子ガバナーから畑和子理事長へ

編集後記

道母連母子福祉振興基金へ
ご芳志ありがとうございます

基金累計額(令和5・11・30現在)

一一二、〇一七、四三七円

昭和51年、再刊第1号発行の道母連だよりは、爾来47年の歳月を歩み、令和6年新年号で100号を迎えました。

あゆみを作成するにあたり、99号すべてに目を通しました。携帯電話もパソコンもなく、交通も不便な時代に、どれほどの知恵を結集し、どれほどの情熱で臨まれたかに思いを巡らせ感銘を受けると同時に、錚々たる顔ぶれの企画・編集に羨ましさを感じました。

長引いたコロナ禍、道母連・地区母連・単位会すべての事業や活動が停滞した3年間も、道母連だよりは年2回発行を守り続けました。掲載する記事不足の中、苦肉の策で4号に亘った延べ99名の「子どもたちの笑顔」は、会員の方ばかりでなく全国の方々にも喜んでいただき、明るい未来を期待させてくれました。

未だ不十分とは言いながら国の福祉政策は、道母連発足時に比べると手厚くなっているように感じます。単位会・地区母連・道母連の存在意義は時代と

令和5年度共同募金助成金は、4ブロック研修会、広報紙発行に充当させていただきました。ご報告し、お礼を申し上げます。

共に変化していますが、だからこそ、目に見えない支え合い、寄り添うことの必要性を、今こそ示す時なのです。

終わりの見えないコロナに耐えて3年、多少の落ち着きに安堵したのも束の間、食品、生活用品の止まることない物価高騰は、弱い立場の母子寡婦家庭を直撃しています。

令和7年には、道母連結成70周年を迎えます。可能性を秘めた若いお母さんと未来を拓く子ども達、そして経験豊かな頼もしい寡婦軍団が力を合わせ、今一度、世代を超えて寄り合う、居心地の良い母子寡婦会を目指しましょう。

道母連だよりは100号を節目として新たなアイデア、工夫を重ね、多くの方々のご協力をいただきながら、道母連の発展と共に、今後も力強く歩み続けることを願って止みません。

広報部 田中 京子 青木枝美子
原田さつき 安達 史子